



消費者情報



カラ・ヒ・ナ

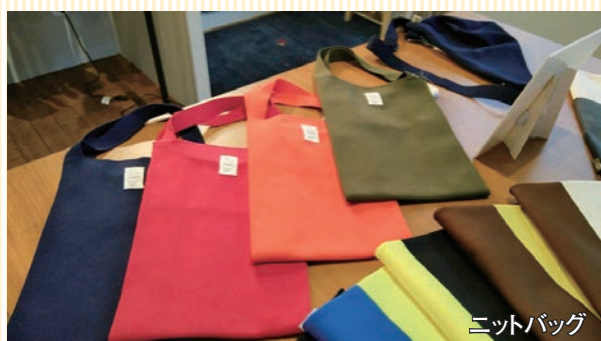
発行日 令和4年8月18日
 発行者 特定非営利活動法人
 新潟県消費者協会
 事務局 〒950-0994
 新潟市中央区上所2丁目2番2号
 新潟ユニゾンプラザ1階
 TEL・FAX (025) 281-5558

E-mail n-shokyo@happytown.ocn.ne.jp URL <http://www.nsyokyo.org/>



弥彦山と大河津分水洗堰

** 気になるスポット **
 「通水100年大河津分水(燕市)」
 (4-5p)



ニットバッグ

** 現場を見せて **
 五泉ニット工業協同組合 (8p)



越後平野に豊かな恵みを



カラフルな糸

目次

- 令和4年度 新潟県消費者協会通常総会報告 2 P
- 地区だより「他の協会に聞いてほしい話題や活動・取組などを紹介」 3・6 P
 <作ってみませんか>涼感アロマスプレー
- <シリーズ>エシカル消費 その1「プラスチックはえらんで減らしてリサイクル」..... 4・5 P
 <気になるスポット>通水 100 年 大河津分水(燕市)
- <生活の情報>安全に優れた運送事業者の証 G マーク 7 P
 <トラブルキーワード>「ATM で保険料や医療費などを返金します」はすべて詐欺!
- <現場を見せて>五泉ニット工業協同組合 8 P

□ 令和4年度 新潟県消費者協会通常総会報告 □

期日：令和4年5月17日(火) 会場：新潟ユニゾンプラザ

※議案は可決承認されました(議案詳細については総会資料をご参照ください。)

第1号議案 令和3年度事業実施報告・決算報告及び監査報告

第2号議案 役員の選任について

第3号議案 令和4年度事業計画(案) 収支予算(案)

—— 新しくなりました! ——

【活動テーマ】 消費者市民社会のさらなる発展に向けて行動しよう!

【重点目標】 一人ひとりが、気づいて繋いで、エシカル消費の輪を広げよう



総会の様子

< 令和4年度主な行事予定 > ※変更する場合があります

7月29日	消費生活サポーターフォローアップ講座
8月1・2・8・9日	
9月13日	佐渡地区連絡会・地区講演会
9月27日	賛助団体との懇談会(Zoom)
10月1日	消費生活サポーターオンライン交流会(Zoom)
10月14日	下越地区連絡会・地区講演会
10月27日	中越地区連絡会・地区講演会
11月上旬	消費生活サポーター養成講座(新潟市秋葉区)
12月2日	金融経済講演会・団体代表者会議
1月19日	会員間交流会(Zoom)

通常総会記念講演会

成年年齢引下げに向き合う

— 自立した大人になるための消費者教育とは —
公益財団法人消費者教育支援センター
主任研究員 庄司 佳子 氏

◇ 役員交代 ◇

< 副会長 >

【退任】 津野 敏江 【就任】 高杉 陽子



< 監事 >

【退任】 西野 伸治 【就任】 小出 和子



講演会の様子

民法改正により、2022年4月から成年年齢が引下げられました。施行されるまでの背景から、実際にその引下げによって変わることとは何か、18歳の成年になるまでに必要な消費者教育とは何かなど、これからの消費者教育のあり方を詳しくご説明いただきました。

これまでの「教え導く消費者教育」(インプット)だけではなく、「考えさせ、判断させる消費者教育」(アウトプット)への転換と必要性について、幼児期からのアクティブ・ラーニング(積極的・能動的な学習)型の具体的な授業実践事例を示しながら、分かりやすくお話ししていただきました。

イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン ギフトカード贈呈していただきました!

イオンリテール株式会社北陸信越カンパニー新潟事業部様より、605,100円のギフトカードをご寄付いただきました。各協会の活動のため有効に使わせていただきます。ありがとうございました。



イオン幸せの黄色いレシート
キャンペーン
贈呈品

地区だより

今年度の「地区だより」は、16 協会を 2 回（165 号・166 号）に分けて他協会の皆さんに紹介したいちょっといい話しや聞いてほしい話題、活動の様子、PR したいことなどテーマを決めず自由に伺いました。

（編集委員 有坂節子）

他の協会に聞いてほしい話題や活動・取組などを紹介

◇会報『消費者かしわざき』市内回覧を実施！

柏崎市消費者協会

会報「消費者かしわざき」を年一回発行し、市の広報手段の町内会を通じて市内回覧をしています。団体の活動報告だけではなく、団体の活動意義、何を伝えたい団体かなどの内容でなければ回覧しないとの方針を受け、今年 3 月に発行した第 77 号には「SDGs とは」と題して、衣生活が地球環境に大きな負荷を与えていること、解決に向けアップサイクルや遊休品販売会などの提案を載せたところ、市民から多くの問合せが寄せられ、反響が大きくなりしました。



◇本年度の活動

魚沼市消費者協会

当協会が誕生して 38 年目となります。最初は「かしこい消費者をめざす会」でした。現在は会員 22 人(内男性 1 人)です。高齢化が進みましたが、昨年のサポーター養成講座で若い方を 2 人会員に迎えることができました。若い力で会を引っ張って行って欲しいと思っています。どうや



今年度の総会の様子
(市民課長を来賓に迎えて)



春のフリーマーケットの様子

って会員を増やしていくかを、活動する中で常に頭に置きながら皆で楽しくやれる活動を目指しています。

◇創立 40 周年を迎えました！

小千谷市消費者協会

わが協会は、1982 年(昭和 57 年)6 月に新潟県消費者協会小千谷支部として発足。25 番目の支部となりました。ウイルス禍でもあり、記念式典は行わず「創立 40 周年記念誌」を発行。小千谷市民にこよなく愛されている山本山により誇りを持てるように、桜 1,000 本の名所にすべく活動している「山本山千本桜の会」に植樹を依頼する事を 40 周年の主な事業として現在進めています。

会員数は少ないですが、参加率は高いので楽しめる活動をやっていききたいと思います。



「社会を変えるエシカル消費」の講演会

◇ちょっと聞いて！

三条市栄消費者協会

ビンに生けかえたお正月の花材、三光松は屋外で 6 月まで緑を保ち、新芽を出す。ピンポンマムなども長持ちしたが、驚きは葉牡丹。水中で根を出したので鉢に植え替えたところ蕾を持って伸びる。15 cm 位切って飾る。その切り口からいくつも脇芽が出て、また伸び出す。切られても芽吹き天を仰いで伸びる。

この生命力には脱帽。昨年から健気に生き抜いている花材から、生きる技を教わった次第です。



驚きの葉牡丹

地区だよりは 6 ページに続きます

<シリーズ>エシカル消費 その1

プラスチックは えらんで減らしてリサイクル

令和4年度本協会の重点目標に「一人ひとりが、気づいて繋いで、エシカル消費の輪を広げよう」をかげ、今後、「エシカル消費」を周知し、その輪を広げる活動をすすめていきます。「エシカル消費」を紹介するDVDも作成しました。

現在の私たちの暮らしは、便利なプラスチック製品に囲まれています。しかし、プラスチックは生産や廃棄時に燃焼するとCO₂が排出され、自然分解されないため、海洋汚染などの環境問題や人間への健康被害も懸念されます。

政府は、2019年6月、3R「リデュース(減らす)、リユース(再利用)、リサイクル(再資源化)」の取り組みに、プラスチックをバイオマスプラスチックのような循環型の素材に替えていこうという「リニューアブル(Renewable)」という考え方を加え、「プラスチック資源循環戦略」を定めました。2020年7月からのレジ袋有料化もそのひとつです。そして、2022年4月に「プラスチック資源循環促進法(通称:プラ新法)」が施行されました。

【プラスチック資源循環促進法(基本方針)】

プラスチックの資源循環の促進等を総合的かつ計画的に推進するため、以下の基本方針を策定する。

- ① プラスチック廃棄物の排出の抑制、再資源化に資する環境配慮設計
- ② ワンウェイ(使い捨て)プラスチックの使用の合理化
- ③ プラスチック廃棄物の分別収集、自主回収、再資源化等

脱プラ!

減プラ!

基本方針②では、これまで使い捨てされることが多かったプラスチック12品目を「特定プラスチック」と指定し、必要としない場合は提供を辞退することや、繰り返し使用できる製品を活用することを推奨しました。これらの品目を環境負荷にならないように、企業は、使用製品の設計、原材料の見直し等を行い、消費者がこれを選択し、消費することで、廃プラスチックの排出抑制につながり、私たち消費者が身近に取り組むことができるエシカル消費のひとつとなります。

この取り組みを実践するため「私たちにできること」、「企業が取り組んでいること」を具体的に、ご紹介します。

私たちにできること

- プラ製のを貰わず、マイ箸・マイスプーンを持参する。
- ペットボトル・プラコップは使わず、マイボトルを持参する。
- プラ個包装を減らし、無駄にラップ等を使用しない。
- 家族や仲間と、この情報を共有する。等

<特定プラスチック製品12品目>



<<気になるスポット>>

通水 100 年

大河津分水(燕市)

【歴史的背景】

越後平野は明治元年や明治29年に発生した横田切れ※¹に代表されるような大きな水害が幾度となく繰り返されて来ました。信濃川下流域の住人はたびたび大きな被害を受けました。中でも稲作では「3年で一毛作」と言われるほど水害に苦しめられて来ました。多くの人たちの請願、思いが大河津分水の工事着工へとつながります。幾多の障壁をのり超えて大正11年(1922年)に通水しました。

※¹ 横田切れ＝明治29年西蒲原郡横田村(当時)の信濃川堤防が360mにわたり決壊、床上・床下浸水は43,600戸、新潟市関屋まで広い範囲で被害にみまわれた大きな水害。

【大河津分水の恩恵】

江戸時代からの悲願であった分水路の完成によって越後平野の洪水は解消されました。大河津分水洗堰(信濃川本流)では下流に流す水量を加減することによってたんぼは美田となり、豊かな恵をもたらし、新潟市の発展にも大きな成果となりました。そして人々の暮らしも安心できるものとなったのです。



大河津分水と主要河川の概略図
(大河内資料館より)



大河津分水出張所にて休むことなく可動堰・洗堰で水量の調整を行っている



SDGs にガチで取り組みます！

タイトルのように、売り上げの一部が支援の必要な団体等への募金となる商品、働きがいのある職場づくり、環境にやさしいコーヒー豆の使用など積極的に取り組まれています。

プラスチック製品の削減についてもSDGsが採択される以前の取り組みとして開発を始め、2015年にフォーク・スプーンを木製に、その後もストローをサトウキビストロー、マドラーを木製、カップの蓋を紙にと、プラスチック製から環境にやさしい素材へと早くから取り組まれています。

今年5月からはライスストローの導入も開始しました。

株式会社 鈴木コーヒー

新潟市中央区竜が島1丁目4番4号電話 025-249-7400

“ストロー”に注目！

●サトウキビストロー

サトウキビの搾りかすから生まれた製品で、生分解性かつ100%天然成分で肥料化可能



●ライスストロー

お米(非食用)を最大70%使用し作られた国産バイオマスプラスチック(ライスレジン)を原料に製品化されたストロー



毎日の生活に豊かさ、楽しさ、便利さを。アクシアルリテイリング株式会社

長岡市中興野18番地2 電話 0258-66-6711

原信・ナルスでは、2021年秋にプラ新法に係る委員会を立上げ、木製や紙製も含めさまざまなスプーンで試食した結果、強度や風味に問題があり、2022年4月からは自社にてバイオマス40%配合のスプーンを有料提供することになりました。必要な方には大きなサイズを5円、小さな透明のものは3円にて販売しています。また、同時にストローやフォークは廃止し、イートインコーナーでのマドラーは紙製へ変更しました。

有料販売を開始する前の2022年3月に自社のHPや各店舗にて周知、お客様への対応方法の教育を行い、販売開始後も直接店舗でお問合せいただいた際にはお客様へ説明し、現在まで否定的なご意見はなくご理解を得られているそうです。

バイオマススプーンを 有料提供



店内ポスター 新スプーン

所感

両社ともSDGsに向けて、配送面の効率化や特に環境問題などへの取り組みを具体的に進められておりました。株式会社鈴木コーヒーでは、「業界全体でSDGsに取り組むべき」と企業や学校等と協働で新しい商品開発をされているようです。アクシアルリテイリング株式会社では、「判断の基準はお客様」という考えに基づき、「やるべきことをきちんとやる」と担当者のお言葉が印象的でした。私たちもそのような取組を意識した購入、消費を心がけたいものです。

【大河津分水の役割】

大河津分水は信濃川本流から野積方面へ9.1km、延べ1000万人が工事に携わり作られた人工の水路です。本流への堰が洗堰、分水側の堰を分水可動堰と呼び分けています。上流域や下流域で降る雨量の条件によってそれぞれの堰から流す水量を調整しています。通常時は毎秒270立方メートルを本流に流し、生活用水やかんがい用水として利用されています。それぞれの堰は管理棟にて24時間体制で監視されているそうです。

(国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所資料より)



大河津分水洗堰(信濃川本流の水量を調整している)

【未来に向けて】平成27年～令和14年度

現在も改修工事は進められています。地球温暖化による異常気象にも耐え、水害リスクに備え河口部の拡幅、地滑り対策などに備え第二床固※²の工事が行われています。また、魚道もつくられ環境にも配慮されています。老朽化した野積橋が新しくなり、歩道も完備しライフラインとしての役割を高めます。

※²床固 = ところため
＝ 落差によって川底が削られるため川底をコンクリートで固めます。

(編集委員 小林 諒 有坂 節子)



新第二床固 山地部掘削作業
○印は現在の第二床固の魚道

◇ピンチはチャンス！

新潟市消費者協会新潟支部
ご多分に漏れず高齢化と会員減少に悩んでいる。「今まで通り」を変えようと、手を尽くしても変化は起きそうにない。しかし、「ピンチはチャンス」である。会員の人生の知恵の数々を形にして伝えることは、高齢者集団ならではの活動ともいえる。高齢者が習得している暮らしの知恵を実践できるエシカル消費の普及啓発活動なら、県協会作成のDVDを使ってどこでもできる。消費者庁長官賞を受賞した新潟市のハンドブックもある。「エシカル消費が消費者協会を救う」かも？



新潟支部総会の様子

◇ちまきの結び方を教わりました

新潟市消費者協会豊栄支部
講師は会員の遠藤イツ子さん。感染防止のため
笹の葉や餅米等の下準備を全て行ってくださり、
私達は笹を三角にして米を入れ形を整え、いよいよ
紐かけ。なかなか思うようにいかずてこずりましたが、
先生はユーモアたっぷりに 8 の字を書く
ようにと指導してくださいました。2時間はアツ
という間でした。作った
ちまきを持ち帰り茹で
て美味しく頂きました。
笹は先生の御主人
が取って来てくださり、
紐のスゲは会員さん
が提供してくれました。
「何事にも協力的
でアットホームな」我
が豊栄支部です。



ちまき作りの様子

◇本年度の活動

新潟市消費者協会巻支部
With コロナ生活も3年目になり、対策を取りながら活動を再開しています。今年は支部総会後に、区役所の職員を講師に「これであなたもゴミ出し名人」の講演会を実施できました。毎日のことなので、皆さん真剣に耳を傾けて質問も積極的でした。”興味ある事業を計画して楽しく活動する”をモットーにしていきます。

にいがた市民環境フェア
では物販に参加。今後も地元イベントへの参加やEM
石鹸作り、講習会など計画
しています。環境に優しい
EM 石鹸は販売し
ています。是非
使ってみてくだ
さい。



市民環境フェアでの物販



活動を企画する
理事メンバー

◇ネットワークを生かした活動を !!

新発田市消費者協会
昨年、新発田市において「消費者安全確保地域協議会」を立ち上げることが決まり、「新発田市消費者被害防止ネットワーク協議会」が発足しました。当協会も参加招聘され、13 団体・機関により構成されています。協議会での個人情報共有は地域の被害未然防止に大変役立っています。今年度は、地域包括支援センターと情報を共有して詐欺被害防止啓発活動に傾注したいと思います。



ネットワーク協議会の様子

作ってみませんか

涼感アロマスプレー

164 号地区だより

村上市消費者協会の活動で紹介！

■材料

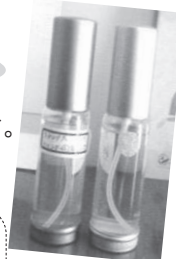
無水エタノール 3～5ml
精油(アロマオイル) 4～6 滴
精製水 25ml スプレーボトル

■作り方

- ①ボトルに無水エタノールを入れ、好みの精油をいれてよく混ぜます。
- ②精製水を加えてさらに混ぜ完成。よくふってから使いましょう。

【注意】冷暗所保存し 2～3 週間で使い切る。3 歳未満には使用しない。肌の弱い人は精油を減量する。

【材料】無水エタノール・精製水はドラッグストアで購入可能。精油はアロマオイル専門店、百貨店、雑貨店等で購入可能。精油は香りのするオイル「アロマオイル」の一つで、100%天然由来のオイル。合成香料使用オイル等は適さないの、精油であるか必ず店員に確認。



完成品

写真・情報提供
村上市消費者協会

生活の情報

安全に優れた 運送事業者の証

Gマーク

私たちの生活に欠かせない貨物自動車運送。新型コロナウイルス禍でオンラインショッピングが多く利用されるようになるなど、需要が高まっています。

右のマーク「G マーク」のステッカーがついているトラック等を見たことがありますか？公益社団法人全日本トラック協会では 2003 年7月から、利用者がより安全性の高い事業者を選び易い環境整備を図るため、事業者の安全性を正當に評価・認定し公表する「安全性有料事業所」認定制度をスタートさせました。「G マーク」は、その認定事業所の証であり、安全性の高い事業者の証です。

安全認定

有効期限 2025年末
安全性優良事業所
国土交通省/全日本トラック協会

3 テーマ38項目の 厳しい基準で安全性評価

- ①安全性に対する法令の遵守状況
- ②事故や違反の状況
- ③安全性に対する取組の積極性



Gマーク取得事業所は 事故の割合が半分以下

未取得の事業所に比べて、車両1万台あたりの事故発生数が半分以下になっています。



新潟県は登録事業者の 割合が全国 2 位

2022 年 3 月末現在で、全国で 27,898 事業者が安全性優良事業所に認定。新潟県は 653 事業者が認定されています。



「安全性優良事業所」の認定事業者は、
全日本トラック協会のホームページに掲載！

G マーク

検索

<問合先>

(公社)新潟県トラック協会
TEL.025-285-1717

トラブルキーワード

「ATM で保険料や医療費などを返金します」 はすべて詐欺！！

役場職員や年金事務所を名乗り、「保険料が戻る」などと偽ってお金を騙し取る、還付金詐欺が増えています。詐欺師は、被害者に電話で ATM を操作させ、被害者の口座から詐欺師側の口座にお金を振り込ませます。なぜ、被害者は振り込んでしまうのでしょうか？手口の一例を紹介します。



- ①役場職員などを名乗る電話で、保険料の還付があるから ATM で操作するように誘導される
注「期限が過ぎてる・今日中」などあせらせる
- ②「還付金を振り込むので ATM の“お振り込み”ボタンを押すように」と指示される
注 “お振り込み” ボタンを押すことで還付金が振込まれると思いこみ、自分から詐欺師への振込みだと気づかない
- ③詐欺師側の口座番号の入力と、金額の画面で“あなたの個人番号”の入力を指示される
注 “個人番号”といわれ入力した数字が詐欺師側に振り込む金額となり、引き落とされてしまう

理想の住まいと出会うために、
不動産広告はいっしょに
確認しましょう。



公益社団法人 首都圏不動産公正取引協議会
TEL:03-3261-3811 <http://www.sfkoutori.or.jp>

不動産公取協

検索

編集後記

今号からカラビナの編集に携わることになりました。新潟市消費者協会巻支部の有坂です。消費者協会に加入したばかりですが、必要な情報を消費者に、消費者の声を事業者・行政に繋ぐ役目を果たす消費者情報誌「カラビナ」の編集を通して、「かしこい消費者」に一歩でも近づけたらと思います。よろしくお願いします。
(編集委員 有坂節子)

《現場を見せて》

五 泉 ニ ッ ト 工 業 協 同 組 合

五泉市吉沢 1-1-10 ☎0250-42-2156

五泉ニットSDGs基準に基づいた商品開発にチャレンジ

ニット業界においてSDGsに基づいた商品開発を昨年から始めたことを知り、その具体的な取組や背景についてお聞きしました。(編集委員 山本ヒサ)

＜繊維産業の歴史＞

五泉市は市の名称が「五つの泉」とあるように、古くから豊富な水に恵まれ、江戸時代から「五泉平」(袴の白生地)の織物産業に始まり、明治・大正・昭和と白生地羽二重の織物産地でした。昭和20年の五泉大火や戦後ライフスタイルの変化により、ニット産地に生まれ変わりました。

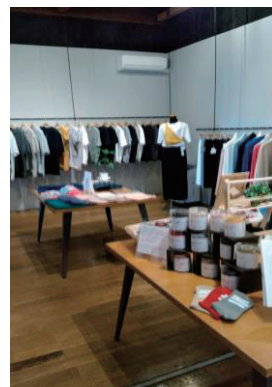
＜Made In Gosen～技術力で裏方から主役へ～＞

五泉ニットは若手後継者が多く、染色・整理・刺繍・プレス等二次加工技術が集積しており、地域内で染色から製品完成まで地域資源が集積している数少ない産地で、工場同士が連携できる強みがあります。女性物ニットの生産は国内シェア日本一を誇り、アパレルメーカーブランドの期待に応える高品質の商品を送り出してきました。

五泉産地からの発信としてメイドイン五泉の「五泉ニット」には五泉ニット工業協同組合が制定したロゴマークを製品につけるようになりました。



五泉ニット工業協同組合事務局長の高橋正春さんから話を伺う



セレクトショップ

＜五泉ニット地域ブランド化＞

技術が集積して一貫生産できる産地の競争力を高めて、国内外に向けて「五泉といえばニット、ニットといえば日本の五泉」をめざして、五泉ニットを次世代に継承するため産地全体で取り組んでいます。

・地域団体商標

組合は2017年に特許庁に「五泉ニット」で地域団体商標登録を行いました。この制度は、地域ブランドを保護することによる地域経済の活性化を目的としています。

・ロゴマーク(右図:商標登録)

特許庁より2018年に商標権を取得しました。このロゴマークが入った商品を自社ブランドやアパレルブランドで増やして「Made In Gosen」の周知を図ろうとしています。



Gosen Knit

五 泉 ニ ッ ト

＜五泉ニットが取り組むSDGs＞

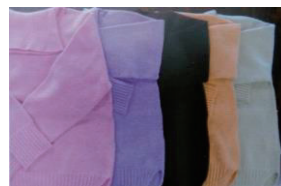
2021年からSDGs(持続可能な開発目標)製品作りに取り組み始め、サステナブル素材の活用、端材の有効活用、生産量の適正化など、サステナブルな製品の開発をおこなっています。

【開発した商品】

- ・リサイクルポリエステルを活用したエコバッグ
- ・ペットボトルや衣料品・繊維くずを原料にした手作り雑貨
- ・素材ロスを出さないホールガーメント(無縫製)編機を使った製品づくり
- ・上質な残糸を厳選使用したニットストール



エコバッグ

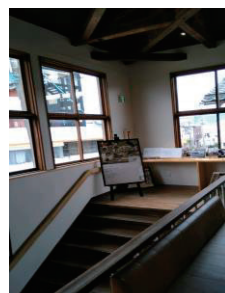


ホールガーメント編機製品

ニットでつながるみんなのスペース

複合施設／交流スペース＜LOOP&LOOP＞

昭和33年に建てられた組合事務所をリノベーションし、1階は組合事務所、ニット製品のセレクトショップ、キッチンのあるチャレンジショップ(カフェ利用)、2階にはイベントスペース等があり、地域内外のさまざまな人が集える複合施設として生まれ変わりました。



左：外観
LOOP&LOOP

右：内部
ゆがんで見える窓ガラス・木製の階段、むき出しの梁など、レトロな雰囲気

＜所感＞以前は各企業が連携することや、地域の人が五泉ニットを目にすることはありませんでした。海外からの安価な輸入品等で売上げが減少する中で、連携して「五泉ニット」のブランド化構想が生まれ、ニットフェスをはじめさまざまな活動を展開し、地域の活性化にも貢献しています。その情熱や勢いが話を伺う中から120%伝わってきました。同じ業界の見附ニットと、いい意味で競合して発展してほしいと思います。